

取扱説明書

アクトモア Uステップ2 アクトモア Uステップ2 ロータイプ スタンダード レーザー&サウンド機能付き

このたびは、本製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。この「取扱説明書」には、本製品を安全にお使いいただくための注意事項や使用方法などを記載しています。

- 本製品をお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- 本製品は、改良などにより「取扱説明書」の内容と一部異なる場合もあります。
- ご不明な点がありましたら、当社までお問い合わせください。

1 ご使用上の注意

危険

【死亡または重傷を招くもの】

- 座面に腰を掛けるときは、必ず左右両方のブレーキがかかっているか確認してください。ブレーキがかかっていると動き出して衝突や転倒の危険があります。また、腰を掛ける場合は平坦な場所で後ろ向きに座ってください。
- エスカレーター・動く歩道・階段などでは使用しないでください。段差のあるところでの使用は十分注意してください。転倒のおそれがあり危険です。
- 溝や踏切の線路での落輪、キャスターの挟み込みには十分注意してください。

警告

【死亡または重傷を招く可能性があるもの】

- 取り扱いが理解できないと思われる方が使用する際には、十分注意してください。取扱説明書に書かれた内容が理解できないと思われる方（幼児や認知症の方など）が使用する場合には、保護者、介護者などが必ず取扱説明書に従った使用を確保し、本人による製品の誤動作、その他誤った使用方法による事故を未然に防いでください。
- 本製品の耐荷重（P8「11仕様」参照）を守ってください。
- 人をのせたまま走行しないでください。本製品は車いす・乳母車・ベビーカーではありません。転倒のおそれや、足をひきずるなどしてケガをするおそれがあり危険です。
- 凹凸や傾斜のある路面、すべりやすい場所で使用するときは十分注意してください。また、急勾配の坂道では使用しないでください。転倒のおそれがあり危険です。
- 座面の上で立ち上がらないでください。転倒のおそれがあり危険です。
- 走行時は必ずグリップ（押し手）を握って走行してください。グリップ（押し手）以外の部分を持って走行すると、転倒するおそれがあります。
- 本製品を体の後ろに置いて使用しないでください。転倒のおそれがあり危険です。

⚠ 注意

【軽傷または中程度の傷害を招く可能性があるもの】

- 分解や改造をしないでください。
強度や耐久性が低下し、転倒するおそれがあります。
- 火気に近づけないでください。
座面のカバーが燃えたり、熱くなった金属部でやけどをするおそれがあります。
- 袖口やその広い服装などで本製品を利用される場合は、注意してください。
衣服がキャスターに巻き込まれるおそれがあります。
- 本製品を折りたたむときは手を挟まないように注意してください。
- 風雨の強いとき、また傘を持ちながらの片手での使用はおやめください。
- カゴの積載量 (4kg) を守ってください。
- カゴの中に鋭利なものを入れないでください。
カゴが破損するおそれがあります。
- カゴ以外の所に荷物をのせたり、つるしたりしないでください。

2 製品の特徴

本製品は、歩行に不安のある方をサポートする歩行車です。

- ブレーキ解除レバーを握らないと進まない安心設計です。足や体が歩行車についていけないときは、レバーを離せば止まります。
- 前輪についているダンパーが、小さな段差をとらえてそのままラクに通過できます。
- 抵抗器付きでスピードコントロールができ、歩行能力に合わせられるので安心です。

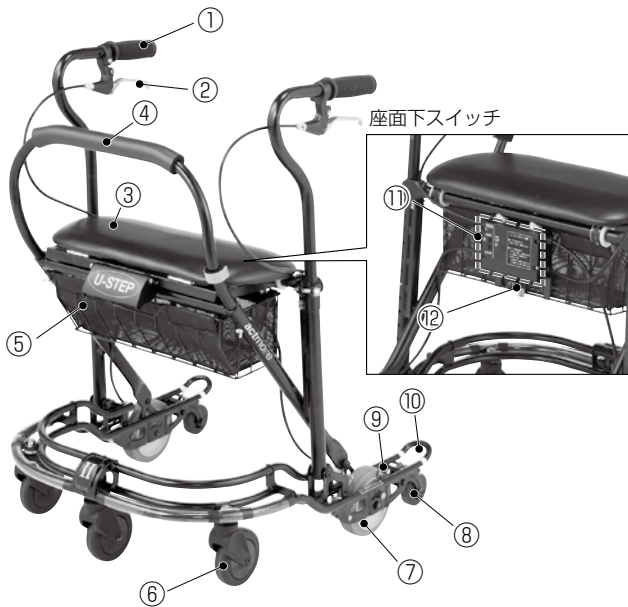
【レーザー&サウンド機能付き】

- 足を踏み出しにくい症状の方に、レーザーの光と電子音で次の一步を導きます。

3 各部の名称

アクトモア Uステップ2
【ラウンドタイプ】

アクトモア Uステップ2 ロータイプ
【スクエアタイプ】



- ① グリップ (押し手)
- ② ブレーキ解除レバー
- ③ 座面
- ④ 背もたれパイプ
- ⑤ カゴ

- ⑥ 前輪キャスター
- ⑦ 後輪キャスター
- ⑧ 補助輪キャスター
- ⑨ 抵抗器
- ⑩ ティッピングレバー

[レーザー&サウンド機能付き]

- ⑪ レーザー&サウンド装置
- ⑫ レーザー

4 適合調整

グリップ（押し手）の高さ調整のしかた

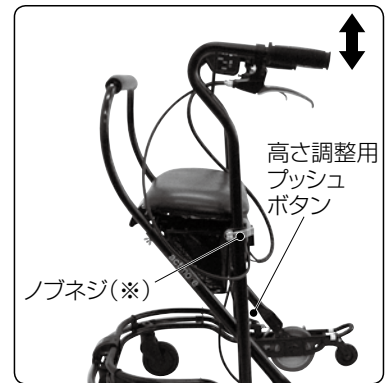
- ①左右のグリップ（押し手）の下にあるノブネジ（※）をゆるめます。
 - ②高さ調整用プッシュボタンを押しながらグリップ（押し手）を上下し、高さを調整します。
グリップ（押し手）高は74.5～97.5cm(10段階)、
ロータイプは70～85cm(7段階)の調整が可能です。
 - ③高さを決めたら、ノブネジ（※）を確実に締めてください。
- ※仕様によってはボルトやレバーの場合があります

△注意

- 高さ調整を行った際は、左右が同じ高さであることを確認してください。
- 高さ調整用プッシュボタンが確実にロックされているか確認してください。
固定が不十分だと使用中にグリップ（押し手）がぐらつき、転倒するおそれがあります。

ポイント

まっすぐ立って腕を下げたときの手首の位置あるいは大転子のあたりをグリップ（押し手）の高さの基準にします。



ブレーキ調整のしかた

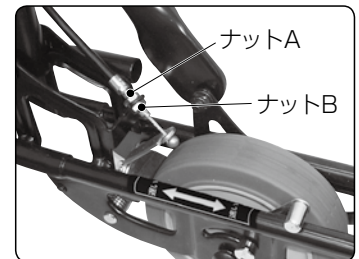
- ①後輪キャストの前面にあるナットA、Bをゆるめます。
- ②ナットAを時計回りに回すとブレーキがゆるみ、反時計回りに回すとブレーキが利きます。
- ③調整ができればナットBをしっかりと締めてください。

△危険

ブレーキ調整部は左右2ヶ所あります。左右のブレーキの抵抗が同程度になるように調整してください。左右のブレーキの利き方が違うとバランスを崩すおそれがあり危険です。

ポイント

ブレーキブロックがキャストをしっかりと固定するように調整します。



背もたれパイプの高さ調整のしかた

蝶ネジタイプは高さ調整ができます。

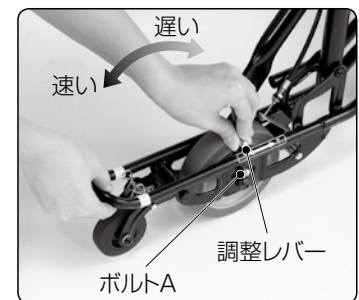
※プッシュピンタイプは高さ調整できません

- ①背もたれパイプ下部にある蝶ネジ2ヶ所を外し、反対側からボルトを抜きます。
- ②背もたれパイプを上下し、高さを調整してください。3段階の調整が可能です。
- ③高さを決めたらボルトを穴に差し込み、反対側から蝶ネジをしっかりと締めます。



抵抗器調整のしかた

- ①ボルトAをゆるめます。
- ②調整レバーを手で前後に動かし調整します。調整レバーを前方に動かすと抵抗が強くなるのでゆっくり歩くことができ、調整レバーを後方に動かすと抵抗が弱くなるので速いペースで歩くことができます。
- ③調整ができれば、ボルトAを確実に締めてください。



レーザー&サウンド機能の使いかた【レーザー&サウンド機能付き】

レーザーで足の踏み出し位置をお知らせし、電子音で歩行リズムを導きます。
電子音は「ピッピッピ」、または「カチッカチッカチ」と鳴ります。

レーザー機能の使いかた

- ①座面下または右手グリップ（押し手）側にあるレーザー&サウンド装置の赤ボタンを押し、電源を入れます。
- ②電子音が鳴り、床面に赤いレーザーが出ます。
この赤いレーザーをめやすに足を踏み出ししてください。



ポイント

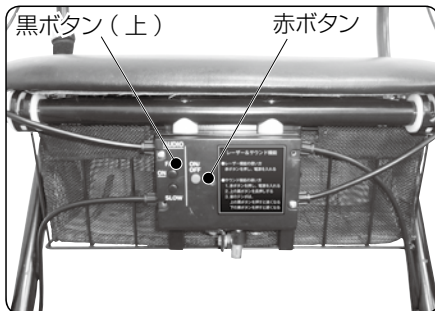
レーザー機能のみで使用できます。

レーザー自動オフ時間設定のしかた

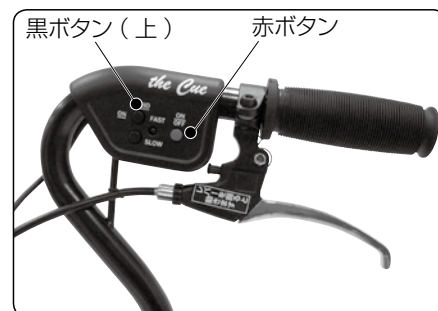
本製品のレーザー機能は、自動オフになる時間の長さを設定することができます。

- ①赤ボタンを押し、電源を入れます。
- ②黒ボタン(上)を押して時間設定を行います。ボタンを押すごとに電子音の数が増え、電子音が鳴る数に応じて自動オフまでの時間の長さが設定できます。(7パターン)
- ③レーザー使用中に設定時間がくると電子音が鳴り自動オフされます。

【座面下スイッチ】



【手元スイッチ】



ポイント

- 自動オフ時間の初期設定は約28分です。
- 電池交換後も直前の設定で使用できます。

自動オフの時間設定パターン

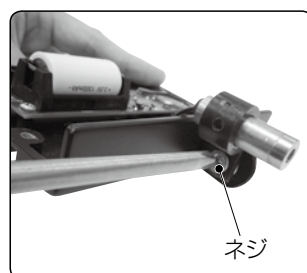
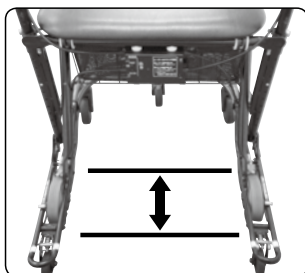
- | | |
|--------------|---------------------|
| 電子音1回・・・約4分 | 電子音5回・・・約20分 |
| 電子音2回・・・約8分 | 電子音6回・・・約24分 |
| 電子音3回・・・約12分 | 電子音7回・・・約28分（初期設定時） |
| 電子音4回・・・約16分 | |

レーザー角度調整のしかた

本製品のレーザー機能は、床面に照射する角度を調整することができます。

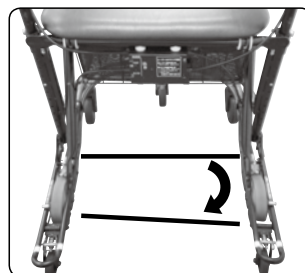
角度の前後位置調整

レーザー角度の前後位置を調整する場合は、レーザーが出る部分にあるネジをドライバーでゆるめて角度を調整します。



角度の斜め位置調整

レーザー角度の斜め位置を調整する場合は、レーザーが出る部分にある六角穴付き留めネジを六角レンチでゆるめて角度を調整します。



ポイント

使用者の足の踏み出し位置にあわせて調整し、調整後はしっかりネジを固定してください。

サウンド機能の使いかた

- ①赤ボタンを押し、電源を入れます。
- ②黒ボタン(上)を長押しし、サウンド機能を作動させます。
- ③電子音が鳴ります。この電子音のリズムをめやすに歩行してください。

ポイント

サウンド機能はレーザー機能と同時に使用できます。サウンド機能のみでは使用できません。

サウンド音量設定のしかた

- ①赤ボタンを押し、電源を入れます。
- ②黒ボタン(下)を押ししてください。
音量は6段階から選ぶことができます。

サウンドリズムの速度設定のしかた

- ①電源を入れて、黒ボタン(上)を長押ししてください。
- ②サウンドのリズム速度は13段階または15段階から選ぶことができます。黒ボタン(上)を押すとリズムが速くなり、黒ボタン(下)を押すとリズムが遅くなります。

電源の切りかた

レーザー&サウンド装置の赤ボタンを押し、電源を切ります。

※サウンドの自動オフ機能はありません

電池交換のしかた

指示線や電子音が弱くなってきたら電池を交換してください。

レーザー&サウンド装置の仕様によって方法が異なります。

【座面下スイッチ】

- ①パネル四隅のネジを外し、基板を外します。
- ②基板裏の電池ソケットに電池をはめ、基板を取り付けます。

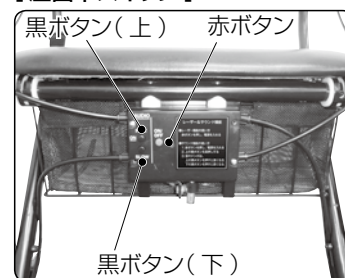
【手元スイッチ】

- ①電池カバーのネジを外し、カバーをスライドさせて外します。
- ②電池ソケットに電池をはめ、電池カバーを取り付けます。

△ 注意

- 座面下スイッチの電池はカメラ用リチウム電池CR123A、手元スイッチの電池は単3電池2本を使用してください。
- 電池を交換しても回復しない場合は、当社に連絡してください。

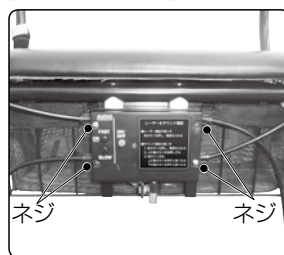
【座面下スイッチ】



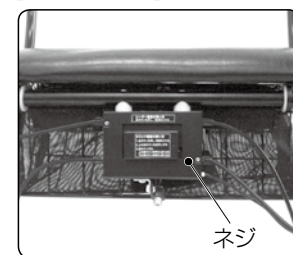
【手元スイッチ】



【座面下スイッチ】



【手元スイッチ】



5 ご使用前の準備と点検

ご使用前に以下の点を確認してください。

- ブレーキ解除レバーを握っていない状態でブレーキが利くこと。
- ブレーキがキャスターを固定すること。
ブレーキの調整ネジを締めても利きが悪いときは、当社に連絡してください。
- キャスターがゆるんでいないこと。

6 組み立てかた

背もたれパイプの取り付けかた

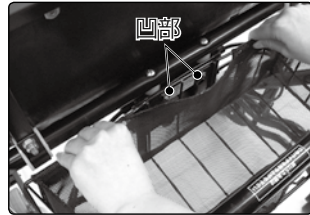
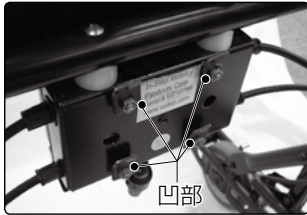
グリップ（押し手）の前方にあるパイプの2ヶ所に背もたれパイプを差し込み、ロックピンまたは付属のボルトと蝶ネジで固定します。

カゴの取り付けかた

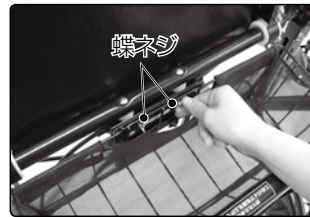
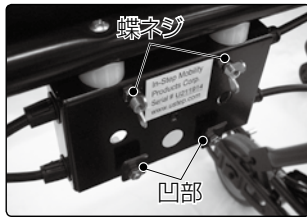
カゴの取り付けかたは複数のタイプがあります。
カゴを取り付けるときは座面を跳ね上げて行ってください。

【座面下スイッチ】

- 上下2ヶ所ずつある凹部にカゴを差し込むタイプ

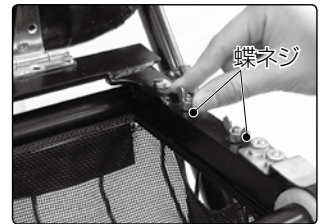
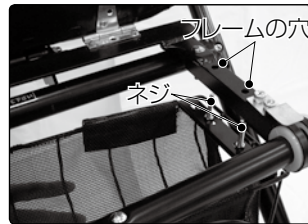


- 上部にある蝶ネジ2ヶ所と下部にある凹部2ヶ所にカゴを差し込むタイプ



【手元スイッチ】

- 本体フレームの左右2ヶ所にある穴へ下から差し込み、蝶ネジで固定するタイプ



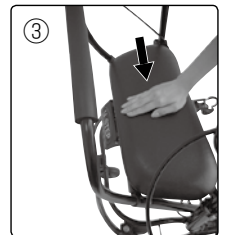
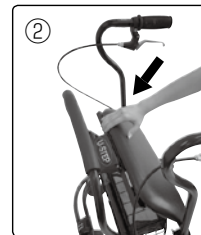
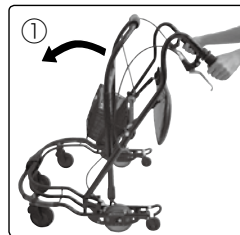
- 取りはずし不可タイプ



7 ご使用方法

1. 開きかた

- ①グリップ（押し手）を両手で持ち、背もたれパイプを起こします。
- ②やさしく座面を倒します。
- ③座面を上から押し、カチッと音がするまで押し込んでください。

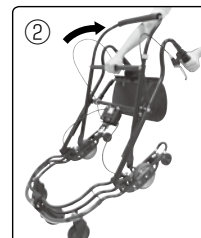


2. 折りたたみかた

- ①座面を上跳ね上げ、「折りたたみ時はこのパイプを持ち上げてください」と書いてある部分を持ちます。
- ②手前に引き寄せて折りたたみます。（自立不可）
※カゴをつけたままでも折りたたむことができます

ポイント

面ファスナーまたはロックングクリップで背もたれパイプとグリップ（押し手）を留めると運搬しやすくなります。
（③参照）



折りたたみ時は
このパイプを持ち上げてください

面ファスナーまたは
ロックングクリップ

3. 操作のしかた

本製品は、常にブレーキのかかった状態の歩行車です。走行するにはブレーキの解除が必要です。

ブレーキを解除するには

- グリップ（押し手）とブレーキ解除レバーを同時に握るとブレーキが解除されます。
- 移動中はブレーキ解除レバーを握ったまま歩行してください。



ブレーキをかけるには

- ブレーキ解除レバーから手を離すとかかります。

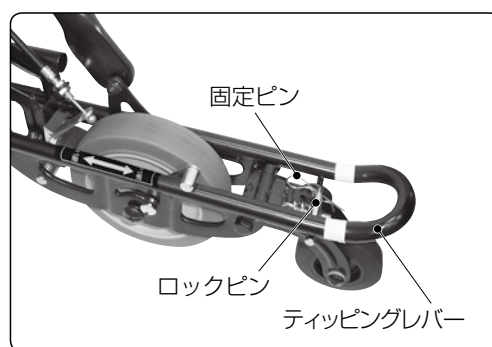
⚠ 危険

座面に腰掛ける際は、本製品が動かないか確認してください。



4. ティッピングレバーの使いかた

- 補助輪カスターの上にあるティッピングレバーを踏み、前輪カスターを上げます。
テコの原理で前輪カスターが容易に上がります。段差の乗り越えに便利です。
 - 補助輪カスターを止めているロックピンを外すと、さらに大きな段差を乗り越えることができます。
ロックピンは、両側の固定ピンを外して横にスライドすると外せます。
- ※一部の仕様では、補助輪カスターが固定式になります



ポイント

歩行が不安定になりがちの方は、補助輪カスターのロックピンを外さずを使用することをおすすめします。

⚠ 危険

ティッピングレバーを勢よく踏んだり、カゴに荷物を入れた状態で段差を乗り越えると、バランスを崩すおそれがあります。必ずグリップ（押し手）を両手でしっかり握り操作してください。

8 保守・点検

- ご使用前には必ず下記の事項を点検・整備し、常に安全な状態でお使いください。
 - ① カスター、ブレーキなどのゆるみを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
 - ② ブレーキの利き具合が悪いときは、後輪カスターの前にあるナットを回して調整してください。それでも直らないときには、当社まで連絡してください。
- 水を含ませた布でふき、汚れを取り除いてください。

9 保管場所

次のような場所では、保管しないでください。故障の原因となります。

- 雨が当たる場所
- 湿気の多い場所
- 炎天下、直射日光が当たる場所
- 高温になる場所

10 故障かな?と思ったら

故障でない場合もありますので、修理を依頼される前にもう一度以下の項目をチェックしてください。

症 状	考えられる原因	処 置
グリップ(押し手)がグラグラと動く	グリップ(押し手)の高さ調整部が確実に固定されていない	グリップ(押し手)の高さ調整用プッシュボタンが確実にハマり、ボルトもしくはレバーが、確実に固定されているか確認してください
ブレーキが利かない	キャスターの磨耗または破損	当社に連絡してください
	ブレーキワイヤの破損またはブレーキの破損	
	キャスターとブレーキパッドの間に障害物がある	障害物を取り除いてください
キャスターが重い	キャスターに髪の毛、ビニールなどが巻きついている	キャスターを手で回転させて、巻きついているものを取り除いてください
	ブレーキがかかっている	ブレーキを解除してください
	後輪に抵抗がかかりすぎている	抵抗器を調整してください
【レーザー&サウンド機能付き】レーザーの光が照射されない、電子音が出ない	電池が切れている	電池を交換してください

※ チェックを行っても正常に使用できない場合、または破損や異常を発見した場合はすぐに使用を中止して、当社に連絡してください

11 仕様

製品名	アクトモア Uステップ2				アクトモア Uステップ2 ロータイプ	
	ラウンドタイプ		スクエアタイプ		スタンダード	レーザー&サウンド機能
	スタンダード	レーザー&サウンド機能	スタンダード	レーザー&サウンド機能		
適応身長めやす	145~190cm				135~165cm	
本体外形寸法 (全幅×全長×全高)	59.5×64.5(67.5 [*])×99cm		59.5×68×99.5cm		59.5×68×87cm	
折りたたみ寸法 (全幅×全長×全高)	59.5×25.8(26 [*]) ×119(121 [*])cm		59.5×27×122cm		59.5×26×111cm	
座面高/グリップ高	56cm/74.5~97.5cm(10段階調節)				48cm/70~85cm(7段階調節)	
重量(kg)	約10.2(11.0 [*])	約10.3(11.2 [*])	約10.2	約10.4	約10	約10.2
耐荷重/カゴ積載量	85kg(積載量含む)/4kg					
キャスター径	前輪:4インチ、後輪:5インチ、補助輪:2.3インチ					
材質	スチール、アルミ					
電源	リチウム電池CR123A または単3電池2本		単3電池2本		単3電池2本	

※ラウンドタイプの寸法・重量は数種類あります

■製品の仕様は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

株式会社フロンティア

フクシのクトハ

フリーコール **0120-294-518**

福祉本部 〒261-0002
千葉県千葉市美浜区新港42-4
TEL.043-301-8338



●アフターサービスのお問い合わせ

取扱店